

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。



—— 創立指揮者 渡邊暁雄 ——

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA SUBSCRIPTION CONCERTS

2025

7

JUL

第 772 回
東京定期演奏会

SATOH
Somei



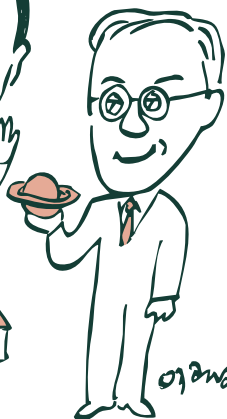
Frans
MOUSSAULT



HIROKAMI
Junichi



Gustav
HOLST



サントリーホール

2025年7月11日(金) 19:00 7月12日(土) 14:00

日本フィルハーモニー交響楽団

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

| | | |
|-----------|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 電源 OFF | アラームOFF 電源OFF | 演奏中は携帯電話や時計のアラームなどデジタル機器の電源はお切りください。 |
| 音にご注意を | ビニール袋 | マジックテープやファスナーの音 靴にしまう、または下へ置くなど物音がたたないようにご配慮ください。 |
| | 船の袋 | 鈴などアクセサリがついたストラップ 靴にしまうなど鳴らないようにご配慮ください。 |
| | 補聴器の音 | ハウリングをおこさないよう、しっかりと装着し、適切な音量に調整をお願いいたします。 |
| 声と拍手にご注意を | 私語 せき | 演奏中の私語はご遠慮ください。咳をする時はハンカチなどで口を覆って響かないようご配慮を。また、拍手やブラボーは指揮棒がおりてから最後の余韻までお楽しみください。 |
| 撮影禁止 | 録音禁止 録画禁止 写真撮影禁止 | 演奏中の録音・録画・写真撮影は、固くお断りしております。 ※演奏終了後に写真撮影可能な公演がございます。 詳細は公演時にご案内いたします。 |
| 周囲にご配慮を | 身を乗り出さない つかの広い/高さのある帽子 | 席から身を乗り出したり、着用している帽子が後ろの席の視界を遮っていることもございます。周囲にご配慮を。 |



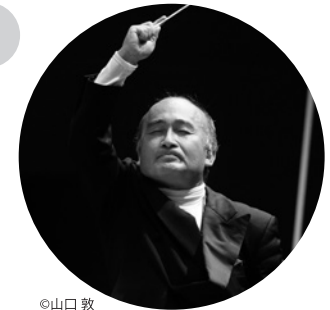
終演時のカーテンコールで写真撮影が可能です。
撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、動画の撮影はご遠慮ください。

撮影に関しては以下のルールを守ってくださいますようお願い申し上げます

- ・アンコール演奏中の撮影はご遠慮ください
- ・スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影はご遠慮ください
- ・フラッシュの使用はお控えください
- ・動画の撮影はお控えください
- ・撮影の際、手を高く上げるなど周りのお客様のご迷惑になる行為にご注意ください
- ・自席にご着席のまま撮影をお願いいたします
- ・SNS等に掲載する際は、ほかのお客様のうつりごみにご注意ください
- ・自撮り棒などの使用はお控えください
- ・演奏中はスマートフォン、携帯電話の電源をお切りください(録音・録画は違法行為です)

SNSに投稿いただく際は、ハッシュタグ #日本フィル #japanphil をつけてください!

目次 CONTENTS



©山口 敦

| | |
|----------------------------------|----|
| ■ 理事長交代のお知らせ | 4 |
| ■ プログラム | 6 |
| ■ 出演者プロフィール | 8 |
| ■ プログラム・ノート- 澤谷 夏樹 - | 11 |
| ■ 写真プレイバック- 2025年4月 - | 15 |
| ■ 次回東京定期演奏会 指揮者にインタビュー カーチン・ウォン編 | 16 |
| ■ 今後の日本フィル出演公演 | 18 |
| ■ あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ | 20 |
| ■ 感動の共有 ~ご支援のお願い~ | 29 |
| ■ 日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名 | 30 |
| ■ パトロネージュご芳名 | 34 |
| ■ メンバーズ TVU チャンネル 配信一覧 | 36 |
| ■ 新入団員紹介 | 37 |
| ■ インフォメーション | 38 |
| ■ 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 名簿 | 39 |

このたび公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団は、新理事長として石塚邦雄氏
続き楽団運営に携わってまいります。
今後とも何卒皆様のお引き立て、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

を選任いたしましたことをご知らせ申し上げます。前理事長平井俊邦は、会長として引き

退任のご挨拶

このたび理事長を退任致しました。専務理事を通算すると18年、激動の中、皆様からの温かい支援の輪に助けられ、日本フィルの成長を見ることが出来ました。心より感謝申し上げます。

オーケストラの再建を使命付けられ専務理事に就任、「財政基盤の強化」「あくなき演奏力の向上」を経営目標に掲げ出発しましたが、多くの試練が待ち受けていました。まず債務超過からの脱出です。10年の歳月を要しました。リーマンショック、東日本大震災、新公益法人移行、コロナ禍等、次々と難問が押し寄せました。しかしその都度、楽団員の必死の努力に加え、人々の温かいご支援の輪が生まれ、奇跡とも思える復活を成し遂げることが出来たのです。日本フィルは幸せ者です。感謝の気持ちで一杯です。財政状況も強化され、ようやく経営も安定してきました。あくなき演奏力の向上については、アレクサンドル・ラザレフ、ピエタリ・インキネン、カーチュン・ウォン、小林研一郎、広上淳一、山田和樹の定期演奏会の常連指揮者陣の活躍により、演奏水準は目覚ましい飛躍を遂げたとの評価を戴いています。

社会からの要請に応える社会性活動も大きな発展を見せています。とりわけ被災地に音楽を、の活動は東日本大震災被災者に音楽を届け、心の復興、を支援する活動で、既に360回を超えました。「後藤新平賞」受賞が地道な活動に火を灯してくれましたが、その火は炎となり、岩手県・福島県との音楽文化・復興活動の連携協定へと拡がっています。

日本フィルと共に過ごす中で、生の演奏が人の心を驚つかみにし、閉じていた心すら開かせる場面を見聞きしてまいりました。音楽の持つ力、の強さ、大きさに導かれ今日を迎える事が出来ましたこと、心より感謝致します。

後任の理事長には経済界でも大きな足跡を残している石塚邦雄氏をお迎えいたします。卓越した手腕を持つ石塚新理事長を支え、日本フィルのさらなる飛躍を目指してまいります。これまで以上のご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団

会長 平井俊邦



就任のご挨拶

このたび平井俊邦氏の後任として理事長に選任され就任いたしました。皆様には日頃より日本フィルとその演奏を愛し、厚いご支援を賜りまして心より御礼申し上げます。

平井前理事長には激動の18年間を見事な統率力と見事な経営力で牽引され、日本フィルをさらなる高みへと導いていただきました。また、「被災地に音楽を」に代表される社会貢献活動は、今日、日本フィルの特別な使命にまで発展いたしました。

オーケストラの経営というものは決して一筋縄には行かないものと、理事長の重責に身の引き締まる思いしておりますが、平井前理事長のご功績と熱意から大いに学び、努力して参りたいと存じます。

日本フィルハーモニー交響楽団は、1956年の創立以来、より多くの人々に音楽の素晴らしさをお届けすべく活動を続けて参りました。2026年には創立70周年という大きな節目を迎えます。芸術的にも、より一層高みを目指し、新たな挑戦へと進むことができましたら、これ以上の喜びはございません。

楽団員とともに精進して参りますので、皆様には引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団

理事長 石塚邦雄



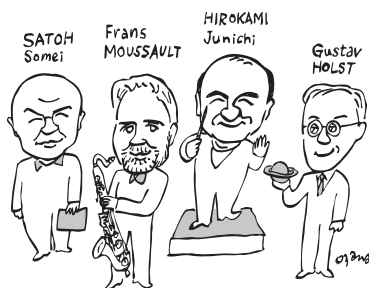
プロフィール

三越伊勢丹ホールディングス元社長/会長

1949年生まれ。1972年東京大学法学部卒業後、三越入社。2005年代表取締役社長執行役員、2008年三越伊勢丹ホールディングス代表取締役社長執行役員に就任、2012年から代表取締役会長執行役員を経て、2020年退任。在任中は経団連副会長、日本住宅協会会長等の重職を歴任。現在はウエルシアホールディングス、伊藤忠商事の社外取締役をつとめる。

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 772nd SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団
第772回 東京定期演奏会



サントリーホール Suntory Hall

2025年7月11日(金)午後7時開演 / 12日(土)午後2時開演
7:00p.m., Friday, 11th & 2:00p.m., Saturday, 12th July, 2025

■ プレトーク「本日の聴きどころ」

東京定期演奏会では、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今月は広上淳一さんです。

金曜日 / 18 : 30 ~
土曜日 / 13 : 20 ~

主催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

協賛 / 株式会社ウテナ 鹿島建設株式会社

TANAKEN株式会社

ホッカンホールディングス株式会社

三井不動産株式会社 UBE株式会社

表紙イラスト / 小澤 一雄



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

佐藤聰明: バス・クラリネット協奏曲

《ヴァン・ゴッホへのオマージュ》[世界初演]

約18分

SATOH Somei: Concerto for Bass Clarinet and Orchestra

"HOMAGE TO VAN GOGH" (world premier)

休憩(15分) Intermission

ホルスト: 組曲《惑星》op.32

Gustav HOLST: Suite "The Planets" op.32

約51分

指揮: 広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)]

Conductor: HIROKAMI Junichi, Friend of JPO/Artistic Advisor

バス・クラリネット: フランス・ムソー

Bass Clarinet: Frans MOUSSAULT

女声合唱: 東京音楽大学

Female Chorus: Tokyo College of Music

コンサートマスター: 田野倉 雅秋 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

ご自宅で
公演の感動を
何度でも

7月11日(金) 公演はライブ & アーカイブ配信あり!

販売期間: ~2026年1月10日

視聴期間: 購入から3か月

料金: 1,000円

Member's TVU CHANNELにて配信
<https://members.tvuch.com>



現在配信中の公演及び配信予定はP36をご覧ください

*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。



Conductor

指揮

広上 淳一

[フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)]

HIROKAMI Junichi, Friend of JPO/Artistic Advisor

©Masaaki Tomitori

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンサートヘボウ管、モンテカルロ響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィルのポストを歴任、このうちノールショピング響とは94年来日公演を実現、さらに米国ではコロバス響音楽監督を務めヨーヨー・マ、五嶋みどりをはじめ素晴らしいソリストたちとともに数々の名演を残した。

近年では、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、スイス・イタリア管、モンテカルロ・フィル、バルセロナ響、ビルバオ響、ポーランド国立放送響、スロヴェニア・フィル、サンクトペテルブルク・フィル、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ、ラトビア国立響、ボルティモア響、シンシナティ響、ヴァンクーヴァー響、サンパウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団にもたびたび招かれ絶賛を博している。

オペラ指揮の分野でもシドニー歌劇場デビューにおけるヴェルディ《仮面舞踏会》、《リゴレット》が高く評価されたのを皮切りに、グルック、モーツァルトからプッチーニ、さらにオスバルト・ゴリホフ《アイナダマール》の日本初演まで幅広いレパートリーで数々のプロダクションを成功に導いている。2025年から日本フィルと「オペラの旅」プロジェクトをスタート、初回《仮面舞踏会》は絶賛された。

2008年4月より京都市交響楽団常任指揮者を経て2014年4月より常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー、常任指揮者として13シーズン目の2020年4月より2022年3月まで京都市交響楽団第13代常任指揮者兼芸術顧問を務めた。2015年には同団とともにサントリー音楽賞を受賞。日本フィルハーモニー交響楽団では1991年～2008年まで正指揮者を務め、現在フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)。また、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティスティック・リーダー、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一を兼務。さらに、東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

2024年第75回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。



Bass Clarinet

バス・クラリネット

フランス・ムソー

Frans MOUSSAULT

©Keke Keukelaar

ピート・ホニング、ブライアン・ポラード、ハリー・スパルナイ、アラン・ダミアン、ジオラ・ファイドマンらに師事。

ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、BBC交響楽団等にゲスト出演。ASKOアンサンブル、クリス・ヒンゼ等と共演。

2000年、ムソーは奨学留学生の機会を得、東京にて尺八古典本曲の集大成者とされる神如道の後継者である神如正に尺八の指導を受ける。その後幻想的かつ瞑想的音楽スタイルを築き上げ、バス・クラリネットの為の作品を書く。

ムソーの音楽の特徴は、
第一 心臓の鼓動を基本にしたリズムではなく、呼吸のリズムに従う。

第二 静寂を作り出す。
この独自のスタイルを築くに至る道筋は、9歳の頃、サクソを演奏したいと思ったが、先生にクラリネットから始めるように言われ、その指示に従う。13歳の時、ヨハネス・ブラームスのクラリネット五奏曲を聴き、クラリネットを続けることを決意。

そして、20歳頃、二つの大きな出会いがあった。

第一 初めて禅尺八を聴き、深い感銘を受け、自分もこの様に音楽を奏でたいと思った。この楽器には、天と地の間にあるような深い表現力、無限の表現力があると思った。
第二 バス・クラリネットとの出会い。この楽器は、人を包み込むような、安らぎ、悲しみ、

そして慈悲の音を生み出すと思った。
2011年 東京でのリサイタルで、佐藤聡明と出会う。

佐藤聡明はムソーの為にバス・クラリネット協奏曲を作曲。これを機にムソーの音楽要素が、佐藤聡明のバス・クラリネット協奏曲に凝縮されており、それは、深い表現力を持つ天と地の間の音楽であり、同時に、慈悲の音楽でもある。

「ムソーの音楽は、捉えどころのない音と色彩が溶け合い、始まりも終わりもなく絶えず変化していきます。静寂の驚異、荘厳さ、そして深みを私たちは聴きます。」

ブライアン・ポラード(元ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団ソロファゴット奏者)

「ムソーの音楽は様々なイメージを呼び起こします。霧のかかった森のように暗く、あるいは海の深い底から湧き出る水の動きをも伝えます。彼の音は私たちの魂に触れ、満たしてくれるのです。」
神如正(尺八奏者)

オフィシャル・ホームページ
<https://www.fransmoussaault.com/>



Female Chorus 女声合唱

東京音楽大学
Tokyo College of Music

東京音楽大学合唱団は「合唱」授業科目の履修者から選抜された学部生と声楽専攻の大学院生を中心に構成する混声合唱団で、国内外の著名オーケストラと数多くの共演を果たしている。日本フィルハーモニー交響楽団との共演は、「第九」を始めとして1979年以來40年以上の歴史を持つ。

2023年には日本フィルハーモニー交

響楽団「クレルヴォ交響曲」「第九」《道化師》「カルミナ・ブラーナ」、2024年には「地中海のテーマ」「第九」、2025年には《復活》、《仮面舞踏会》に出演。

合唱指導は2024年度より、志村文彦、杉野正隆、藤牧正充、浅井隆仁の各氏に加え、フレンドリー・アドバイザーとして広上淳一氏を迎えている。

初演に向けて、佐藤聰明さんよりメッセージをいただきました

ファン・ゴッホへのオマージュ

佐藤 聰明

小学生のころ、たまたま学校の図書室で眼にしたのがゴッホの「麦畑を飛ぶカラス」でした。その絵を見つめているうちに、はたしてこれはこの世の風景だろうか、と不思議な思いにとらわれたのです。この世とあの世が重なりあい、その縁をおぼろにしているからです。その印象はいまも変わりません。このような風景を描けるのは古今においてゴッホだけです。彼の魂もまた、現界と異界の境を逍遥していたのに違いありません。フランス・ムソーさんの依頼で作曲。同氏に献呈いたしました。



略歴

作曲を独学。作品はアメリカを中心に、ヨーロッパ、環太平洋諸国で幅広く演奏されており、ことにニューヨークではオーケストラ公演を含む作品演奏会（個展）が17回にわたって催されている。またニューヨーク・フィル、ユードイー・メニューイン、ヒラリー・ハーン、アン・アキコ・マイヤーズ、高橋アキ、クロノス・カルテット、バング・オン・ア・キャン・オールスターズなど世界の著名な演奏家、アンサンブル、オーケストラおよび芸術基金から多数の委嘱を受けている。97年ニューヨーク・ダンス・アンド・パフォーマンス賞をクロノス・カルテットと共に受賞。ダーティングトン国際音楽祭（2009、イギリス）及びチェルシー音楽祭（2012、ニューヨーク）などのテーマ作曲家。これまでに18枚に及ぶCDアルバム（作品集）がリリースされ、『リタニア』はニューヨーク・タイムズのベスト・レコードと全米公共放送の第2位に選ばれた。著書に『耳を啓く』（春秋社）、『幻花—音楽の生まれる場所』（洪水企画）がある。

プログラム・ノート 解説：澤谷 夏樹

❖ 佐藤聰明：バス・クラリネット協奏曲

《ヴァン・ゴッホへのオマージュ》（世界初演）

のちに佐藤聰明のバス・クラリネット協奏曲を産むこととなる種子は、2011年に蒔かれたという。クラリネット奏者のフランス・ムソーは当時、自ら開拓したバス・クラリネットの音楽世界を、作曲と演奏とで開陳

していた。東洋音楽的とも言えるその理念を理解し、作品として実現してくれる人物に曲を依頼したい。そう考えたムソーが14年前にたどり着いた作曲家こそ、佐藤聰明だった。

佐藤は1947年、仙台で産声を上

げた。三味線や日本舞踊といった本邦の伝統芸能に囲まれて育つが、ティーンエイジャーのときに聴いたクラシック音楽に心を奪われる。

長じて音楽活動に従事するようになった佐藤は、まず即興演奏やミクストメディアの世界に身を投じる。1973年に2台のピアノと音楽テープのための《太陽讃歌》を書いてからは、演奏会用の作品が増えていく。こうした初期の段階から佐藤の曲は、波紋のような、もしくはモアレ縞のような、管とも弦とも声ともつかぬ、わやわやとした“第3の音”を含んでいる。また、きわめて緩徐なテンポや息の長いなだらかな音の流れが、作品に瞑想的な感覚をもたらす。

佐藤のこうした音楽観（鑑）にムソーは目をつけた。演奏家はこの作曲家に曲を依頼することを心に決める。その結果、佐藤は2017年にバス・クラリネット協奏曲を書き上げるが、その前後には多少の紆余曲折があった。

まずは作曲前。ムソーはまず、バス・クラリネットと邦楽器とを組み合わせることを佐藤に提案したが、当時、作曲家はそのような混淆を望んでいなかったという。一方、佐藤はムソーにバス・クラリネット協奏曲を打診し、それを演奏家が受け入れた。

そして作曲後。先述の通りこの協

奏曲は2017年の作品だが、初演は今回の演奏会を待たなければならなかった。理由はもちろん疫病禍である。のびのびになったお披露目が、このたびようやく実現する。

バス・クラリネット協奏曲は単一楽章の作品。3度のゲネラルパウゼ（総休止）を挟んで、4つの部分からなると見ることもできる。編成は独奏バス・クラリネット、ハープおよび弦楽合奏と、すこぶる切り詰められている。楽想そのものはこれまでの佐藤作品に共通するところが多い。遅いテンポ、息の長い音の動き、そして“第3の音”の効果。

そのなだらかな流れと、おもにハープが担う上行の運動性とを対比するところが面白い。弦楽による音の引き伸ばしと積み重ねとを横目に、ハープははじめから低い音域からの跳躍を試みる。その挑戦が作用して、弦楽も基本の歩調を保ちつつ、おずおずと上行しだす。上昇のベクトルはハープのアルペジオでいよいよ明確に。総休止を挟んで登場する独奏バス・クラリネットも、最初から緩やかな上昇傾向を示す。ハープの上行意欲に対して、バス・クラリネットのほうが弦楽合奏よりも鋭敏に反応しているように感じられる。

ここで気がつくのは、ハープの撥弦、バス・クラリネットの吹奏、弦楽の擦弦という三者の音の持続時間

に長短の階層があることと、作曲家がその階層を曲の中で利用していることだ。それは、それぞれの基本音価の差異としてあらわれるし、上昇のベクトルに対する意欲の強さの違いとしても表に出る。

行きつ戻りつする弦楽、つねに上行の力動を失わないハープ、それに鋭く反応し、弦楽群にもその力動を

❖ホルスト：組曲《惑星》op.32

グスターヴ・ホルスト(1874-1934)は音楽家を輩出する家系の出身であり、音楽の専門教育をしかるべき機関で受けた作曲家ではあるが、その精神の中心を貫くのは“大なるアマチュアリズム”だったように見受けられる。

この作曲家は自身の創作に結びつきそうな諸分野につねに目を配り、そればかりか、それらの分野にいつとき挑んでみるのを常とした。たとえば、ヒンドゥーの詩に曲をつけようと思いついたとき、訳詩に満足できなかったホルストは自らサンスクリット語を学び、簡単な読み書きを習得する。この努力は声楽とピアノのための《『リグ・ヴェーダ』からの賛歌》(1907-08)などに結実する。

同じころ、盟友の作曲家ヴォーン・ウィリアムズがイギリス民謡の収集を始めたことに感化され、各地の民謡

分け与えんとするバス・クラリネット。その相互作用の末、弦楽合奏も高みに到達する。そこで3度目のゲネラルパウゼ。弦楽合奏が、ようやくたどり着いた高音域を保つ中、バス・クラリネットとハープが最後の飛翔をする。

楽器編成：独奏バス・クラリネット、ハープ、弦楽5部。

収集家に教えを乞う。管弦楽曲《サマセット・ラプソディー》(1906-07)はその結果、生まれた。

両者に共通するのは、いずれもきわめて真面目な取り組みながら、その到達点が深みにいたらず浅瀬に留まっている点だ。つまり作曲家は、創作に寄与する目処がたった時点で、それらの文化所産を追求することから、それらを作曲で活用することへと軸足を移す。そうした行動様式は外形的には、文化所産の海に膝まで浸かった程度でそこから上がってしまっているように見えるわけだ。これを“積極的アマチュアリズム”と称してもよいかもしれない。

こうした“アマチュアリズム”は、今日、作曲家の代表作と目される管弦楽曲《惑星》にも色濃く反映されている。ホルストは1913年、友人のクリフォード・バックスから占星術につい

て知らされる。それに端を発し、アラ・レオの『ホロスコープとは何か』なるリーフレットを読んだともいわれる。こうした試みは1914年、すぐに《惑星》の作曲に利用されることとなる。

《惑星》は太陽系の天体名を冠した7曲からなる。すなわち水星・金星・火星・木星・土星・天王星・海王星だ。これらはあくまで占星術における星々であって、それにより科学的知見を表明するものではない。

ホルストは当初、いずれの曲も鍵盤楽器のために作曲した(最終的なオーケストレーションに向けてコンデンススコア、すなわち楽譜の段数を圧縮した総譜を作ったと言ったほうがよいかもしれない)。1914年から16年の初めにかけて、火星・金星・木星・土星・天王星・海王星・水星の順に書き上げたとされる。それらを1917年、管弦楽曲に仕立て替えた。

第1曲「火星、戦争をもたらす者」 5拍子の拍節を強調するリズムを、ティンパニなどが執拗に鳴らし続ける。不安を煽るような楽想が支配的。
第2曲「金星、平和をもたらす者」 前曲とは対照的に安寧に満ちた緩やかな音楽。ヴァイオリンの独奏から3拍子の中間部に入る。

第3曲「水星、翼をもつ使者」 各声部を駆使して音域を広く上下したのち、

同じ音型をパート間ですばやく受け渡していく。

第4曲「木星、快樂をもたらす者」 勇壮に始まるが、しばらくすると勢いは下火に。やがて弦4部が斉奏で変ホ長調の伸びやかな主題を演奏する。その後、勇ましい楽想を取り戻す。

第5曲「土星、老化をもたらす者」 フルートによる不安げな和音に、コントラバスのずっしりと重たい主題が呼応する。この主題をトロンボーンが受け継ぐ。

第6曲「天王星、魔術師」 第3曲同様、交響曲でいうところのスケルツォの役割を果たす。冒頭のおどろおどろしいファンファーレが、スケルツォのところどころに楔を打っていく。

第7曲「海王星、神秘主義者」 第1曲と同じく5拍子だが、「海王星」ではこの拍節が、猛々しさではなく神秘性を強調する。やがて別働隊の女声合唱がヴォカリーズ(母音だけで唱える歌詞のない歌)で参入する。曲は徐々に静けさに満たされ、消え入るように終わる。

楽器編成: フルート4(ピッコロ持替2、アルト・フルート持替1)、オーボエ3(バス・オーボエ持替1)、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット3、バス・クラリネット1、ファゴット3、コントラ・ファゴット1、ホルン6、トランペット4、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テナー・チューバ1、バス・チューバ1、ティンパニ2、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、タンブリン、ゴング、チューブラー・ベル、シロフォン、グロッケンシュピール、ハープ2、チェレスタ1、オルガン1、女声合唱、弦楽5部。

Playback

プレイバック 

4月の公演を
振り返ります



PHOTO 1 4月6日 小学生からのクラシックコンサート
プロコフィエフの《ピーターと狼》をメインに、お楽しみいただきました。開演前のロビーではネコ耳を作るうのコーナーも。園田隆一郎マエストロ、江原陽子さん、オーケストラでネコポーズ!



PHOTO 2 4月11日、12日 東京定期演奏会
前半はハイドンの交響曲第79番とソリストのコリヤ・ブラッハーさんを迎えてボリス・ブラッハーのヴァイオリン協奏曲を。そして後半のアイヴズ《答えのない質問》とR.シュトラウスの《ツァラトゥストラはかく語りき》はアタックでそのまま演奏するというリプレイヒさんのこだわりのプログラムをお届けいたしました。



PHOTO 3 4月15日 にじくら第7回
広上マエストロと、小山実雅恵さん、高橋克典さんと共に、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番と映画音楽をお届けいたしました。アンコールのサンダーバードは広上マエストロ、高橋克典さんならではのサプライズが。コンマス扇谷を含めて記念撮影!



PHOTO 4 4月19日 横浜定期演奏会
ショパン国際ピアノコンクール最年少入賞から35年。横山幸雄マエストロの指揮とピアノで、ショパンの若かりし時代の管弦楽曲作品を2年かけてコンプリート!朝日カルチャーセンターとのコラボ講座開催しました。



PHOTO 5 4月26日、27日 広上淳一&日本フィル「オペラの旅」Vol.1 《仮面舞踏会》
沢山のお客様にご来場いただき、無事Vol.1をお届けすることができました。素晴らしい歌手の皆様、合唱の皆様、ダンサーの皆様、スタッフの皆様、そしてお越しいただいた皆様、ありがとうございました!



PHOTO 6 4月30日 岩手県文化振興事業団創立40周年記念演奏会
沼尻竜典マエストロのタクトの下、ドヴォルジャークのチェロ協奏曲(チェロ:佐藤晴真さん)と宮沢賢治が愛したベートーヴェンをお届けしました。コンマスの扇谷も一緒にばしゃり!

日本フィルのライブ・アーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
<https://members.tvuch.com>



今後の日本フィル出演公演 2025年7月～9月

| 2025 | 公演／会場／日時 | 出演者／曲目 | チケット／お問い合わせ |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 7月 | 夏休みコンサート2025 19[土]14:00 相模女子大学グリーンホール 20[日]14:00 松戸森のホール21 21[月・祝]14:00 府中の森芸術劇場 22[火]14:00 杉並公会堂 25[金]13:00&16:30 横浜みなとみらいホール 26[土]13:00&16:30 ソニックシティ(大宮) 27[日]13:00&16:30 サントリーホール 29[火]14:00 ロームシアター京都 | 指揮:園田 隆一郎(7/19-29) 大井 剛史(8/1-24) お話とうた:江原 陽子 バレエ:スターダンサーズ・バレエ団 (7/19-29) ピアノ:金子 三勇士(8/1-24) 【第1部】 エルガー:《威風堂々》第1番 ハチャトゥリアン:《仮面舞踏会》よりワルツ アンダーソン:ジャズ・レガート リムスキー=コルサコフ: 《スペイン奇想曲》よりファンダンゴ 【第2部】今年も選べる! ★バレエ(7/19-29)★ チャイコフスキー:バレエ《白鳥の湖》 (日本フィル夏休みコンサート2025版) ★金子三勇士のピアノでみゆじっく(8/1-24)★ バルトーク: マイクロコスモスよりオスティナート ベートーヴェン:エリーゼのために リスト:ラ・カンパネラ ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番より 第1楽章 【第3部】 だれにだってお誕生日/うみ/勇氣100% | 日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪ 7/22 杉並公会堂公演のみ お問合せ:杉並公会堂 |
| | 日本フィル東北の夢プロジェクト2025 楽しいオーケストラin岩手 トーサイクラシックホール岩手 6[水]15:30 | 指揮:大井 剛史 ピアノ:金子 三勇士 お話とうた:石井 あみ 【第1部】オーケストラ! 【第2部】ピアノでみゆじっく! 【第3部】子どもたちのステージ 岩手大学教育学部附属小学校合唱部 牛伏郷土芸能保存会 (宮古市立千徳小学校、宮古市立宮古西中学校) 【第4部】みんなで歌おう | 日本フィルeチケット♪ |
| 8月 | フェスタサマーミュ 9[土]15:00 | | お問合せ: ミュージア川崎 シンフォニーホール |
| | | | |

日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911 [平日10時-17時]
日本フィルeチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>

公演の詳細は日本フィル・ホームページでご確認ください。 www.japanphil.or.jp



あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、
あらゆる地域へ、世界へ

2024年度 落合陽一×日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクト

2018年から続く「落合陽一×日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクト」。テクノロジーを用いて生の音楽の喜びを伝えることを目指し、2018年4月の「耳で聴かない音楽会」*より活動を継続してきました。

2024年度は東京、佐渡、那覇で3公演を実施。音楽を通した「喜びの共有」の機会を拡げました。実現にあたっては「日本博2.0(補助型)」の助成、佐渡市の共催(東京、佐渡)をいただきました。

佐渡公演では、地域の方が担い手として受け継いでいる鬼太鼓芸能の新しい表現を、そして、佐渡市では機会の少ないクラシック公演を映像付きでお楽しみいただきました。

また、2023年度に続く那覇公演では、琉球古典音楽奏者、佐渡の鬼太鼓団体、そして琉球交響楽団と日本フィルメンバーのコラボレーションなど、多くの「音楽の繋がり」を創出しました。株式会社ジントック様の特別協賛をいただくほか、沖縄県内の多くの企業・団体・個人の皆様からご支援を得て、音楽を介した繋がりが更に広がりました。

多くの皆様のご支援に心より御礼申し上げます。

◆ 日本文化と寄り添う新作初演

VOL.8プロジェクトでは、日本各地の優れた音楽・芸能にオーケストラが寄り添う日本探訪企画(承前啓後継往開来)第2弾として、佐渡の鬼太鼓と西洋のクラシックの融合する新作、藤倉大「Demon Dance」を委嘱初演しました。佐渡以外では体験できない鬼太鼓を広くご紹介する機会となりました。

◆ 生成AIを用いた演出一万博へ、そして万博から

生成AIを用いた演出の取組は2年目となり、ベリリオーズが残したプログラム・ノートを「プロンプト」と見做して人間と生成AI、音楽と視覚の隔たり、そして人をとりまくモノ・コトとの境界を廃したところに浮かぶ宴を描きました。これらの取組の成果は、関西・大阪万博における落合陽一シグニチャー・パビリオン「null²」にも取り入れられ、大きな反響を呼んでいます。

今年度のVOL.9プロジェクトは「能楽」をテーマにこれらの取組をさらに推し進めます。2025年8月、東京公演とともに25年ぶりとなる大阪・関西万博公演の出演も決定。

※日本フィルは1970年万博でも公式演奏会に出演しました。

(指揮:小澤征爾、篠原真「ヴェジョンII」(日本フィル・シリーズ第22作ほか))

落合陽一×日本フィルプロジェクト VOL.9《null²する音楽会》

指揮:広上淳一 演出:落合陽一 映像の奏者:WOW ほか

- ・東京公演:8月21日(木)/サントリーホール
(チケット好評発売中。クラウドファンディング実施中)
- ・万博公演:8月30日(土)/大阪・関西万博EXPOホール「シャインハット」

utena

絶滅危惧
化粧品

投稿で助けてください

#ウテナモイスタチャーを救え



utena
Moisture
ウテナ モイスタチャー

ウテナ広告



お求めはお近くのスーパー、ドラッグストア等で。

1983年生まれのアロエエキス配合スキンケア ウテナ モイスタチャーは
(保湿成分)

40年以上、愛用者の皆様の美肌を支え続けてきました。
これからも、たくさんの美肌を生み出せると信じています。

株式会社 ウテナ

〒157-8567 東京都世田谷区南鳥山1-10-22

お客様相談室 0120-305411 www.utena.co.jp